

基準 2 学生

基準 2. 学生

2-1. 学生の受入れ

2-1-① 教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と周知

2-1-② アドミッション・ポリシーに沿った入学者受入れの実施とその検証

2-1-③ 入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持

(1) 2-1 の自己判定

基準項目 2-1 を満たしている。

(2) 2-1 の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）

2-1-① 教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と周知

八戸学院大学（以下、本学）における各学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）は、学校教育法施行規則第 165 条の 2 に基づき、各学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）とカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を踏まえ、各学科が多様な学生を受け入れることができるよう、入学者に求める能力や高等学校で学ぶべき科目、また、それを評価する基準・判定方法などについて学科別に策定し、明示している。

また、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）は、「本学公式ホームページ」、「学修の手引き」、「八戸学院大学入学者選抜試験要項（以下、入学者選抜試験要項）」、「大学案内」に記載するとともに、高校教員を対象とした入試説明会、進学説明会・相談会、教職員による高校訪問、オープンキャンパスなどさまざまな機会を活用し、大学内外への説明・周知を図っている。

各学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）は、表 2-1-1 のとおりである。

【資料 F-4】令和 2 年度八戸学院大学入学者選抜試験要項

【資料 F-5】2020 年度学修の手引き（4 項～9 項）

【資料 2-1-1】八戸学院大学公式ホームページ（学部・学科紹介）

<http://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/>

【資料 2-1-2】CAMPUS GUIDE BOOK 2020 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部

表 2-1-1 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）と判定方法

<p>地域経営学部 地域経営学科</p>	<p>地域社会の様々な経営に関して、強い興味・関心と主体的に学ぶ学習意欲を有し、将来、地域社会についての課題を自ら発見・検討し、解決策を見つけ、実践しようとする意志を持っている人を受け入れる。</p> <p>【地域経営学部地域経営学科の具体的な受け入れ方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会に関する様々な経営に関して、強い興味と関心を持って主体的に学ぶ意欲を有している。 2. 将来、地域社会の実課題に自ら積極的に取り組もうとする強い意欲を有している。 3. 資料や文章を読む「読解力」を有し、自分の理解や考えを口頭や文章、プレゼンテーションにより適切に表現する「表現力」などの基本的なコミュニケーション能力を有している。 4. 高等学校における「国語」、「数学」、「外国語（英語）」の基礎科目のほかに、「世界史A」または「世界史B」、「現代社会」または「倫理」、「政治経済」、「社会と情報」または「情報の科学」のうちいずれか1科目を学習し、十分な基礎学力を身につけている。 <p>【入学者選抜における判定方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会に関する様々な経営に関して、強い興味と関心を持って主体的に学ぶ意欲を有していることについては、書類審査と面接により判定する。 2. 将来、地域社会の実課題に自ら積極的に取り組もうとする強い意欲を有していることについては、書類審査と面接により判定する。 3. 「読解力」、「表現力」などの基本的なコミュニケーション能力を有していることについては、書類審査と面接又は小論文により判定する。 4. 高等学校における「国語」、「数学」、「外国語（英語）」の基礎科目のほかに、「世界史A」または「世界史B」、「現代社会」または「倫理」、「政治経済」、「社会と情報」または「情報の科学」のうちいずれか1科目を学習し、十分な基礎学力を身につけていることについては、書類審査と学力検査により判定する。
<p>健康医療学部 人間健康学科</p>	<p>深い教養とリテラシーを身につける意欲と、こころとからだに関する学問領域に強い興味と関心を持って主体的に学ぶ意欲を有し、医学・体育・心理・看護・福祉・環境・栄養等の幅広い分野の学びを通じて、将来において、現代社会が求める健康ニーズに先駆的に取り組んでいこうという強い意志を持っている人を受け入れる。</p> <p>【健康医療学部人間健康学科の具体的な受け入れ方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 深い教養とリテラシー、こころとからだに関する学問領域に強い興味と関心を持って、主体的に学ぶ意欲を有している。 2. 現代人の健康ニーズに先駆的に取り組んでいこうという強い意志を持っている。 3. 「教育職（保健体育）（養護・保健・看護）」、「トレーニング指導者」、「コーチングアシスタント」、「認定心理士」、「社会福祉士」の資格取得を目指している。 4. 高等学校における「国語」、「数学」、「外国語（英語）」の基礎科目のほかに、「科学と人間生活」、「生物基礎」、「生物」のいずれか1科目を学習し、十分な基礎学力を身につけている。 <p>【入学者選抜における判定方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 深い教養とリテラシー、こころとからだに関する学問領域に強い興味と関心を持って主体的に学ぶ意欲を有していることについては、書類審査と面接により判定する。 2. 現代人の健康ニーズに先駆的に取り組んでいこうという強い意志を持っていることについては、書類審査と面接により判定する。 3. 「教育職（保健体育）（養護・保健・看護）」、「トレーニング指導者」、「コーチングアシスタント」、「認定心理士」、「社会福祉士」の資格取得を目指していることについては、書類審査と面接により判定する。 4. 高等学校における「国語」、「数学」、「外国語（英語）」の基礎科目のほかに、「科学と人間生活」、「生物基礎」、「生物」のいずれか1科目を学習し、十分な基礎学力を身につけていることについては、書類審査と学力検査により判定する。

健康医療学部 看護学科	<p>看護師・保健師になる強い意志を持ち、将来において医療関係職種の一員として主体的に行動し、地域の看護活動に携わる高い意欲のある人を受け入れる。</p> <p>【健康医療学部看護学科の具体的な受け入れ方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間を理解し、共感する知性と感性を磨き、援助の人間関係を築こうとする意欲を有する。 2. 看護師・保健師としてのものの見方や考え方、基本的な看護技術、看護理論、多様な場における看護実践を主体的に学ぶ強い意欲を有する。 3. 多くの医療関係職種と連携・協働して、地域の看護活動に貢献する基礎的研究方法を身につけようとする高い意欲を有する。 4. 高等学校における「国語」、「外国語（英語）」の基礎科目のほかに、「生物基礎」、「数学Ⅰ」、「数学A」のいずれか1科目を学習し、十分な基礎学力を身につけている。 <p>【入学者選抜における判定方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間を理解し、共感する知性と感性を磨き、援助の人間関係を築こうとする意欲については、書類審査と小論文および面接により判定する。 2. 看護師・保健師としてのものの見方や考え方、基本的な看護技術、看護理論、多様な場における看護実践を主体的に学ぶ強い意欲については、書類審査と小論文および面接により判定する。 3. 多くの医療関係職種と連携・協働して、地域の看護活動に貢献する基礎的研究方法を身につけようとする高い意欲については、書類審査と面接により判定する。 4. 高等学校における「国語」、「外国語（英語）」の基礎科目のほかに、「生物基礎」、「数学Ⅰ」、「数学A」のいずれか1科目を学習し、十分な基礎学力を身につけていることについては、書類審査と学力検査により判定する。
----------------	---

2-1-② アドミッション・ポリシーに沿った入学者受入れの実施とその検証

1. 入学者選抜試験運営体制

本学ではアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）に基づいて、各学科の学問領域に対し、強い学習意欲を持つ学生の確保を目的として、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）の「入学者選抜における判定方法」を踏まえた種々の選抜方法を「入学者選抜試験要項」に定め、入学試験を実施している。

なお、入学者選抜試験の円滑な運営を図るため、「八戸学院大学学則（以下、学則）」第62条第2項に基づき、「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学試験運営委員会（以下、入学試験運営委員会）」が組織され、入学者選抜試験の計画、実施運営にあたっている。

本学で実施している入学者選抜試験は、表 2-1-2 のとおりである。

【資料 2-1-3】 八戸学院大学学則第 62 条第 2 項

【資料 2-1-4】 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学試験運営委員会規程

表 2-1-2 令和 2 (2020) 年度入学者選抜試験一覧

入学者選抜試験種別	地域経営学部	健康医療学部	健康医療学部
	地域経営学科	人間健康学科	看護学科
推薦入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）	○	○	○
A0 入学試験（A・B・C・D 日程）	○	○	-
A0 入学試験（S 特待生選抜）	○	○	-
専門課程入学試験	○	○	-
一般入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）	○	○	○
大学入試センター試験成績利用入学試験（A・B・C 日程）	○	○	○
編入・転入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）	○	○	○
学士入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）	○	○	-
社会人入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）	○	○	○
外国人留学生入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）	○	○	○
外国人留学生入学試験（指定校）（Ⅰ期・Ⅱ期）	○	○	○
外国人留学生編入・転入学試験（指定校）（Ⅰ期・Ⅱ期）	○	○	-

入学者選抜試験については、一般入学試験では学力試験を課し、その他の入学者選抜試験（大学入試センター試験成績利用入学試験を除く）では面接試験を課している。

面接試験においては、面接試験を担当する教員が受験者の志望動機や意欲・適性について、各学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）で求める学生像に留意し、面接評価を行っている。

なお、入学試験運営委員会は面接試験を担当する教員に対して、事前の試験実施説明会で試験実施要項を配付し、「入学者選抜における判定方法」に留意して面接試験を行うよう依頼するとともに、試験終了後には報告会を開催し、面接担当者全員からの報告（面接評価表および面接シートの提出を含む）を義務付けている。このように、面接試験が厳正に行われ、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）に沿った公正な試験運営となっているかを検証している。

また、学力試験を課す入学者選抜試験においては、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）の「入学者選抜における判定方法」に基づいた学力検査を基本としている。試験問題の作成については、入学試験運営委員会が教員の中から作題候補者を選出し、学長の責任のもと問題作成委員として委嘱し、問題作成を行っている。試験問題の校正を行う際や正答の確認、最終チェック作業については、情報漏洩に十分注意するとともに、出題ミスが無いように作題者および入学試験運営委員による相互チェックを行っている。作成された試験問題については、文部科学省の通知（試験問題と解答は原則公表）に基づき、令和元(2019)年度から著作権処理（著作権者の許諾確認）が完了した試験問題と解答を、「本学公式ホームページ」上で公開している。

入学者の選考に関しては、大学設置基準第 2 条の 2 および「学則」第 2 条の 3、「学則」第 30 条 2 項、「学則」第 33 条、「学則」第 60 条 2 項、「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学者選抜委員会規程」に基づき、入学者選抜委員会の委員長を議長とする合否判

定会議を開催し合否判定を行い、学長が決定している。

令和 3(2021)年度の入学試験制度については、文部科学省「平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告（平成 29 年 7 月）」（以下、「見直しに係る予告」）の通知に基づき、入学試験運営委員会が「見直しに係る予告」の新たなルールと過年度における各入学試験への出願状況などを考慮し、入学者選抜の実施時期や方法等の運用が妥当、適切であるかについて検討し、概要を策定した。

【資料 2-1-5】八戸学院大学学則第 2 条の 3、第 30 条 2 項、第 33 条、第 60 条 2 項

【資料 2-1-6】八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学者選抜委員会規程

【資料 2-1-7】「2021(令和 3)年度入学者選抜に係る変更について(予告)」

<https://www.hachinohe-u.ac.jp/news/oshirase/r011213/>

2. リメディアル教育支援体制

八戸学院大学教務委員会（以下、教務委員会）のリメディアル教育推進担当と教務学生課が中心となり、高等学校から本学での学修にスムーズに移行させることを目的としたリメディアル教育を行っている。

令和 2(2020)年度の新入生に対して実施した内容は、次のとおりである。

① 全学科共通

現代文に関する 2 つの課題を提示した。

② 人間健康学科

上記①に加え、生物に関する課題を提示した。

③ 看護学科

上記①に加え、生物のワークブック「生理学ー人体の構造ー」を課題として提示した。

また、希望者を対象に、大学の授業を理解するのに必要な国語、数学、生物の基礎知識を身につけさせることを目的とする DVD 教材を配布した。

【資料 2-2-8】入学前リメディアル教育の課題

【資料 2-2-9】入学前準備教育についてのご案内（看護学科）

2-1-③ 入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持

令和 2(2020)年度における入学定員充足率は、地域経営学部地域経営学科（以下、地域経営学科）106%、健康医療学部人間健康学科（以下、人間健康学科）129%となり、入学定員を満たしたが、健康医療学部看護学科（以下、看護学科）88%と入学定員を満たすには至らなかった。しかし、過去 5 年間の大学全体における入学定員充足率・収容定員充足率は上昇傾向にあり、令和 2(2020)年度の入学定員充足率は 108%と入学定員を上回った。

平成 28(2016)年度からの各学科および大学全体の入学定員・入学者数・収容定員・在籍者数の推移は、表 2-1-3 のとおりである。

表 2-1-3 入学定員、入学者数、収容定員、在籍者数の推移(各年度 5 月 1 日現在)

学部学科	ビジネス学部 ビジネス学科				
年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入学定員	80 人	80 人	—	—	—
入学者数	58 人	85 人	—	—	—
入学定員充足率	73%	106%	—	—	—
収容定員	320 人	320 人	240 人	160 人	80 人
在籍者数	246 人	276 人	204 人	142 人	79 人
収容定員充足率	77%	86%	85%	89%	99%
学部学科	地域経営学部 地域経営学科				
年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入学定員	—	—	80 人	80 人	80 人
入学者数	—	—	72 人	64 人	85 人
入学定員充足率	—	—	90%	80%	106%
収容定員	—	—	80 人	160 人	240 人
在籍者数	—	—	72 人	135 人	228 人
収容定員充足率	—	—	90%	84%	95%
学部学科	健康医療学部 人間健康学科				
年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入学定員	80 人	80 人	80 人	80 人	80 人
入学者数	88 人	78 人	89 人	101 人	103 人
入学定員充足率	110%	98%	111%	126%	129%
収容定員	320 人	320 人	320 人	320 人	320 人
在籍者数	308 人	288 人	317 人	342 人	354 人
収容定員充足率	96%	90%	99%	107%	111%
学部学科	健康医療学部 看護学科				
年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入学定員	80 人	80 人	80 人	80 人	80 人
入学者数	69 人	67 人	74 人	57 人	70 人
入学定員充足率	86%	84%	93%	71%	88%
収容定員	80 人	160 人	240 人	320 人	320 人
在籍者数	69 人	135 人	204 人	252 人	256 人
収容定員充足率	86%	84%	85%	79%	80%
大学計					
年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入学定員	240 人	240 人	240 人	240 人	240 人
入学者数	215 人	230 人	235 人	222 人	258 人
入学定員充足率	90%	96%	98%	93%	108%
収容定員	720 人	800 人	880 人	960 人	960 人
在籍者数	623 人	699 人	797 人	871 人	917 人
収容定員充足率	87%	87%	91%	91%	96%

【様式 2】学部学科の入学者数・入学定員充足率・在籍学生数・収容定員充足率等

【表 2-1】学部、学科別在籍者数（過去 5 年間）

学生受入れ数の維持のために、「本学公式ホームページ」・「大学案内」・メディアや SNS 等による情報発信、オープンキャンパスや高校教員向け説明会等をとおして、生徒やその保護者、高校教員に本学の魅力が伝わるように努めている。

なお、令和元(2019)年度に予定されていたオープンキャンパスのうち、令和 2(2020)年 3 月に予定されていた回が新型コロナウイルス感染症の流行にともない中止となったが、参加できなかった生徒・保護者向けに例年オープンキャンパスで頻出する質問についての Q&A を作成し、「本学公式ホームページ」に掲載した。

【資料 2-1-10】八戸学院大学公式ホームページ（オープンキャンパスなんでも Q&A）

<https://www.hachinohe-u.ac.jp/nyushi/opencampus/ocquestion/>

(3) 2-1 の改善・向上方策（将来計画）

本学で令和 2(2020)年に実施した一般入学試験（Ⅱ期）における入試問題の出題ミス等を踏まえ、入試問題の出題過誤の防止のために、従前より設けられていた入試問題のチェック機能と体制を強化し、ヒューマンエラーの発生防止を図る。

令和 3(2021)年度入学者選抜見直しに係る入学者選抜方法の枠組み変更にともない、入学試験種別の性格を踏まえ、多面的・総合的な評価を行う。

入学定員に沿った適切な学生受入れ数を維持するため、八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部広報委員会を中心とした広報活動の PDCA を継続、徹底する。

2-2. 学修支援

2-2-① 教員と職員等の協働をはじめとする学修支援体制の整備

2-2-② TA(Teaching Assistant)等の活用をはじめとする学修支援の充実

(1) 2-2 の自己判定

基準項目 2-2 を満たしている。

(2) 2-2 の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）

2-2-① 教員と職員等の協働をはじめとする学修支援体制の整備

1. 学修支援の組織と体制

本学の教員により構成される教学部門には、学長、八戸学院大学教授会（以下、教授会）の下、教育センター、学生支援センター、キャリア支援センターが設置されている。なお、学長直轄として配置されていた特別学生支援室は、令和 2(2020)年 4 月から八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学生相談・特別支援室（以下、学生相談・特別支援室）として再編され、学生支援センターの下に設置されている。

職員が担当する教学部門の組織は学務部の下、学務課、教務学生課、キャリア支援課、図書館事務室が設置されている。

本学では、全教員がカレッジアドバイザーとして学生の学修支援とキャリア支援を行っている。学生に寄り添ったきめ細かな指導を展開し、学生が気軽にカレッジアドバイザーなどに相談することができる環境を整えている。

学生の出席状況、休学者および留年者への対応などの把握については、毎月開催される学科ごとのカレッジアドバイザー会議や実習会議などにおいて、情報共有を図っている。

【資料 2-2-1】令和 2(2020)年度学校法人光星学院 事務・技術職員配置表

2. 学修支援の状況

(1) 基礎演習等支援体制

学修支援については、各セメスター開始時に教務委員会と教務学生課によるオリエンテーションを実施している。オリエンテーションでは、入学時に配布する「学修の手引き」と年度初めに配布する各種資料を活用し、履修登録、資格取得、各種実習、海外研修に関わる説明を行っている。新生生に対しては、「八戸学院大学履修規程」に基づき、教務に関わるオリエンテーションに加え、カレッジアドバイザーによる個別の履修指導も行っている。

履修登録の際には、カレッジアドバイザーが学生の履修登録内容が反映された「履修登録確認表」を確認し、履修指導の徹底を図っている。また、学生が卒業や資格取得などに必要な履修科目、単位数、科目の順序性を示した「ナンバリング表」を「はちがくキャンパス Web」から任意にダウンロードし、確認できるようにしている。令和 2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にかかる措置として、4月14日から5月10日まで臨時休校となった。それにともない、履修登録期間を繰り下げて対応した。

【資料 F-5】2020 年度学修の手引き

【資料 2-2-2】令和 2 年度春学期オリエンテーション時配布資料

【資料 2-2-3】履修登録確認表の見方

【資料 2-2-4】令和 2(2020)年度ナンバリング表

(2) IT ネットワークシステムによる支援体制

授業支援および学修支援のために、講義棟、八戸学院図書館（以下、図書館）、学生食堂など、キャンパス内に無線 LAN のアクセスポイントを多数設置している。これにより、一般教室などにおいてパソコンをインターネットに接続できる学修環境を整えている。また、情報システム室が適宜パソコンのトラブルに対応し、学生の学修支援として IT ネットワークシステム環境を維持している。

学生は、「はちがくキャンパス Web」で履修登録、シラバスの閲覧、成績の確認を始めとして、学事暦、時間割、講義日程や教室の変更、休講や集中講義の情報、講義の課題、講習会、各種説明会の日程などを確認することができる。

教員は、「はちがくキャンパス Web」で成績入力や出席簿作成ができるほか、授業教材や課題の配布、アンケートの実施も可能であり、学生への情報提供や学修支援に活用している。

【資料 2-2-5】はちがくキャンパス Web

https://lms.hachinohe-u.ac.jp/webclass/login.php?auth_mode=SAML

(3) 国際交流支援体制

本学では、①「アメリカ海外研修」、②「タイ国海外研修」、③「EF 海外語学研修」、④「CNE1 語学研修」の 4 つの海外研修制度を実施している。また海外研修には、本学独自の「給付型語学研修奨励金制度」がある。それぞれの概要は次のとおりである。

①「アメリカ海外研修」

夏休み期間中の約 2 週間、ハイライン・コミュニティ・カレッジ（ワシントン州シアト

ル市) のカプラン研修センターでの語学研修やホームステイ、現地学生・各国留学生との交流を行う海外研修制度である。本研修参加により、リベラルアーツの選択科目である「海外事情」および「英語コミュニケーション」の単位が付与される。

②「タイ国海外研修」

学期末を利用して約2週間、タイ国チェンマイ市において博物館や寺の見学、タイ語レッスンなどタイの歴史や文化を学ぶほか、現地でのボランティア、八戸市出身でタイ在住の日本人経営者による研修、ファー・イースタン大学の学生との交流を行う海外研修制度である。本研修参加により、リベラルアーツの選択科目である「海外事情」の単位が付与される。

③「EF 海外語学研修」

平成28(2016)年に学校法人光星学院(以下、法人)と留学サービス会社EF(エデュケーション・ファースト・ジャパン)株式会社が海外留学連携協力協定を締結し、EFが提供する語学留学プログラムの中から、学生が研修先や期間等を選んで参加する海外語学研修制度である。本研修参加により、リベラルアーツの選択科目である「海外事情」および「英語コミュニケーション」の単位が付与される。

④「CNE1 語学研修」

平成30(2018)年1月、法人と法人が経営する株式会社八戸学院グループ、フィリピンのカーテル科学教育財団、および同財団が運営するCNE1国際語学学校の4者間で連携協定を締結することにより発足した語学研修制度である。CNE1国際語学学校において、マンツーマン方式による集中的な英会話のレッスンをを行う。本研修参加により、リベラルアーツの選択科目である「海外事情」および「英語コミュニケーション」の単位が付与される。

【資料2-2-6】CAMPUS GUIDE BOOK 2020 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部

【資料2-2-7】八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部海外研修・グローバルプログラム、

【資料2-2-8】「海外事情」シラバス

2-2-② TA(Teaching Assistant)等の活用をはじめとする学修支援の充実

1. 学内ワークスタディによる学修支援

本学では、「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学内ワークスタディ規程」に基づき、学生アルバイトとして教育研究活動に係わる補助的な業務が行われている。令和元(2019)年度については、2人の学生が、人間健康学科の開講科目である「陸上競技」と「ラケット・バットスポーツ」の講義補助に従事した。

【資料2-2-9】八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学内ワークスタディ規程

【資料2-2-10】学内ワークスタディ募集要項

【資料2-2-11】学内ワークスタディ採用実績

【資料2-2-12】学内ワークスタディ勤務状況報告書

2. 学生相談・特別支援体制

本学では、学長直轄の組織である「特別学生支援室」を設置し、身体障害、発達障害、その他の機能障害のため、継続的に修学や学生生活などに制限を受ける状態にある学生が、障害のない学生と平等に活動できるように支援を行っていた。

令和 2(2020)年度から、「特別学生支援室」は「学生相談室」と合併し、「学生相談・特別支援室」に再編され、多種多様な背景を抱える学生への学修支援を行っている。

【資料 2-2-13】 八戸学院大学・八戸学院短期大学部障害学生学修支援規程

【資料 2-2-14】 八戸学院大学・八戸学院短期大学部学生相談・特別支援室規程

3. オフィス・アワーの実施

本学では、授業以外で教員と学生とのコミュニケーションを図る場として、オフィス・アワー制度を導入している。全教員が週 1 回以上、曜日と時間帯を指定して研究室に在室し、訪れる学生の学修に関する相談を受ける体制を整えている。また、学生の利便性を図るため、本学および八戸学院大学短期大学部（以下、短期大学部）に所属する全教員のオフィス・アワーの一覧を学生掲示板に掲示している。

【資料 2-2-15】 令和 2(2020)年度オフィス・アワー一覧（掲示用）

4. 学生の状況の把握

各学科では、毎月学科会議やカレッジアドバイザー会議などが開催され、履修状況ならびに出席状況など教育上必要な情報の共有を行い、学生の状況把握がなされている。また、教職員間では「はちがくキャンパス Web」の「学生カルテ」の情報を共有し、学生指導に活用している。問題のある学生については、カレッジアドバイザーが当該学生と面談を行い、問題解決に向けた指導により、退学、休学および留年防止に努めている。

平成 29(2017)年度から令和元(2019)年度までの 3 年間における、学科ごとの退学・除籍の件数と内訳、休学理由の件数と内訳を表 2-2-1 から表 2-2-6 に示す。

【資料 F-7】 令和元年度事業報告書

【資料 2-2-16】 令和元(2019)年度実施各学科会議録抜粋

【資料 2-2-17】 Web 学生カルテシステム教員用操作手順書

表 2-2-1 ビジネス学科・地域経営学科における退学・除籍理由の件数と内訳（単位：人）

学 部	項 目	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ビジネス学科・ 地域経営学科	①-a 学業不振（4 年次生）	0	2	0
	①-b 学業不振（3 年次以下）	0	0	0
	②部活動退部のため	3	4	0
	③環境不適應	0	0	0
	④経済的事情	1	3	0
	⑤他の教育機関へ進路変更	1	0	0
	⑥就職等の理由	2	0	0
	⑦その他	4	2	5
	合 計	11 (4.0%)	11 (4.0%)	5 (1.8%)

（注）地域経営学科（平成 30(2018)年度開設）の件数も含む。

（出所）令和元年度事業報告書（八戸学院大学）及び退学報告書等より作成。

表 2-2-2 人間健康学科における退学・除籍理由の件数と内訳（単位：人）

学 部	項 目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
人間健康学科	①-a 学業不振（4 年次生）	0	0	0	0	0	0
	①-b 学業不振（3 年次以下）	0	0	0	0	0	0
	②部活動退部のため	1	0	0	0	3	0
	③環境不適合	1	0	0	0	0	0
	④経済的事情	3	0	2	0	1	0
	⑤他の教育機関へ進路変更	0	0	1	0	1	0
	⑥就職等の理由	0	0	1	0	1	0
	⑦その他	3	0	5	0	8	0
	合 計	8 (2.8%)	0 (0.0%)	9 (2.8%)	0 (0.0%)	14 (4.1%)	0 (0.0%)

（出所）令和元年度事業報告書（八戸学院大学）及び退学報告書等より作成。

表 2-2-3 看護学科における退学・除籍理由の件数と内訳（単位：人）

学 部	項 目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
看護学科	①-a 学業不振（4 年次生）	0	0	0	0	0	0
	①-b 学業不振（3 年次以下）	0	0	0	0	0	0
	②部活動退部のため	0	0	0	0	0	0
	③環境不適合	1	0	0	0	0	0
	④経済的事情	0	0	1	0	2	0
	⑤他の教育機関へ進路変更	0	0	1	0	0	0
	⑥就職等の理由	0	0	1	0	0	0
	⑦その他	4	0	4	0	2	0
	合 計	5 (3.7%)	0 (0.0%)	7 (3.4%)	0 (0.0%)	4 (1.6%)	0 (0.0%)

（出所）令和元年度事業報告書（八戸学院大学）及び退学報告書等より作成。

表 2-2-4 ビジネス学科・地域経営学科における休学理由の件数と内訳（単位：人）

学 部	項 目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
ビジネス学科 ・地域経営学科	進路再考のため				1	2	2
	一身上の理由	2	2	1			
	合 計（※）	2(0.7%)	2(0.7%)	1(0.4%)	1(0.4%)	2(0.7%)	2(0.7%)

表 2-2-5 人間健康学科における休学理由の件数と内訳（単位：人）

学 部	項 目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
人間健康学科	転科のため						1
	進路再考のため	1	1	2	1	1	1

	経済的理由		1				
	一身上の理由		2	1	3	3	2
	その他	1		2			
	合 計 (※)	2(0.7%)	4(1.4%)	5(1.6%)	4(1.3%)	4(1.2%)	4(1.2%)

表 2-2-6 看護学科における休学理由の件数と内訳（単位：人）

学 部	項 目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
看護学科	進路再考のため	2	4	1		1	3
	留学		1	1	1		
	一身上の理由	1		1	3	1	6
	その他					2	
	合 計 (※)	3(2.6%)	5(3.7%)	3(1.5%)	4(2.0%)	4(1.6%)	9(3.6%)

※休学者率＝休学者数／在籍者数

5. スポーツ局による学修支援

令和 2(2020)年 4 月から、強化指定部に所属する学生の学修支援などを目的としたスポーツ局の開設に着手している。

6. 留学生に対する学修支援

令和元(2019)年度から、留学生の日本語能力の向上を目的に「留学生学修支援プロジェクト」を実施している。日本語を総合的かつ継続的に学べるように、時間割を作成するなどして学修機会を確保している。

【資料 2-2-18】 令和 2(2020)年度日本語勉強会関連資料

(3) 2-2 の改善・向上方策（将来計画）

入学および Semester 開始時には、カレッジアドバイザーと教務学生課が連携し、引き続き学生に寄り添いながら懇切丁寧な履修指導を行っていく。また、学科会議等の場で、学生に関する教育上必要な情報の共有を教員間で積極的に行い、全教職員が一体となった学修支援を継続する。退学防止に関しては、カレッジアドバイザーを中心とする全教職員が学修状況等の把握を含めて積極的に相談支援を行い、学生が直面する学修上の問題に対して早期に対応していく。

さらに、強化指定部に所属する学生の学修状況についてはスポーツ局が集約し、部活動と学修状況に応じた必要な指導と支援を行えるように体制を整える。

留学生の学修支援として、個々の日本語能力に応じた学修の機会を継続して提供していく。

2-3. キャリア支援

2-3-① 教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する支援体制の整備

(1) 2-3の自己判定

基準項目 2-3 を満たしている。

(2) 2-3の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）

2-3-① 教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する支援体制の整備

1. キャリア支援の組織と体制

本学は、学生に対して、入学から卒業まで一貫した日常的かつ専門的なキャリア支援などを行うことを目的にキャリア支援センターを設置し、キャリア教育（教育課程内外）、就職支援事業を行っている。

キャリア支援センターのキャリア支援に関する業務内容は、以下のとおりである。

- 1) キャリア支援体制のあり方および学生の就職支援、相談指導のための方策についての企画・調整に関すること
- 2) 学生の就職相談、進路相談および就職先等の開拓に関すること
- 3) インターンシップについての調査・研究および受入企業等の開拓に関すること
- 4) 学生のキャリア支援全般に関すること

就職相談、進路相談・助言については、八戸学院大学就職支援委員会、カレッジアドバイザーおよびキャリア支援課が連携を図りながら行っている。またキャリア支援課は、学生が企業情報や就職に関する資料の閲覧、パソコンを活用した就職情報検索などができるように態勢を整えている。求人情報や会社説明会などに関する情報は、随時、キャリア支援課内の掲示板に掲示しているほか、「はちがくキャンパス Web」の「Web 就職」から閲覧することができる。

【資料 2-3-1】 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部キャリア支援センター規程

【資料 2-3-2】 求人票検索システム～「Web 就職」利用方法～

2. キャリア教育支援の状況

(1) キャリア教育（教育課程内）

【地域経営学科（ビジネス学科）・人間健康学科】

●キャリアデザインⅠ～Ⅷ

1年生を対象に「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」を両学科合同で開講している。これにより、キャリアやキャリア形成についての理解を図り、大学4年間における学びとキャリアについての認識を深め、働くことや社会との関わりについての理解を促すことにより、学びに対する動機づけを行っている。

2年生を対象に「キャリアデザインⅢ・Ⅳ」を開講している。学科ごとに専門性が異なるため、当初は学科別に授業を行っていたが、「働く・生きる・学ぶ」ことへの理解を深め、社会理解・職業理解、自己理解を図ることによって、キャリア形成を支援する観点から、合同での授業を多く取り入れている。その中で、人間健康学科では、他者理解を図り自己表現力を高める観点から、ディスカッションを取り入れている。

3年生を対象に「キャリアデザインⅤ・Ⅵ」を学科ごとに開講している。両学科とも社会的・職業的に自立するために、社会理解や自己理解を図り、将来のキャリアを展望して、円滑に社会へ移行して行くことができるように、キャリア発達支援を行っている。また人

間健康学科では、2年次に引き続き、他者理解を図り自己表現力を高める観点から、ディスカッションを取り入れている。

なお、令和元(2019)年度より学生のキャリア発達を促していくために「キャリアデザインⅠ～Ⅵ」において、「まとめキャリアシート」の情報を「はちがくキャンパス Web」の「キャリアデザイン」の授業ページに蓄積し、教員と学生（学生は本人のものだけ）の閲覧に供している。

ビジネス学科・人間健康学科の4年生を対象にして「キャリアデザインⅦ・Ⅷ」を選択科目として開講している。学生が円滑に社会に適応し、自立した自分らしいキャリアを歩んで行くことができるように、その基盤となるコミュニケーション能力や表現力を向上させる観点から、また働き方の観点やライフ・ワークの観点から授業を行っている。

【資料 2-3-3】 令和 2(2020)年度キャリアデザインⅠ～Ⅷシラバス

【資料 2-3-4】 WebClass でのまとめキャリアシート入力内容の表示画面

【資料 2-3-5】 まとめキャリアシート(Ⅰ～Ⅵ)

【資料 2-3-6】 まとめキャリアシート閲覧方法説明(2019 春・秋)

【資料 2-3-7】 まとめキャリアシート学生説明資料

●インターンシップ

就業体験を通じて、主体的に職業選択に関する能力を身につけさせ、高い職業意識を育成すること、また自己発見や将来設計の機会とすることなどを目的として、地域経営学科・人間健康学科の3年生を対象に選択科目として「インターンシップ」を開講している。特に、「キャリアデザインⅢ～Ⅴ」を中心にインターンシップを行うことの重要性に関する理解が進み、令和元(2019)年度の受講者数は20人と増加傾向にある。

【資料 2-3-8】 令和 2(2020)年度インターンシップシラバス

【資料 2-3-9】 インターンシップ履修者数一覧

【看護学科】

看護学科は豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力と行動力、科学的な根拠に基づく看護ケア、他職種との連携・協働力、主体的研究能力などの基礎的汎用的能力を育成するために、教育課程全体をとおしてキャリア教育に取り組んでいる。

●臨地実習

看護学科では1学年から4学年までのカリキュラムにおいて臨地実習を取り入れており、この臨地実習は、看護実践場面における科学的根拠に基づく実践教育であると同時にキャリア教育の役割を果たしている。

1年生の「基礎看護学実習Ⅰ」では、対象の理解や看護への参加体験をとおして、早期に看護活動に触れている。2年生の「基礎看護学実習Ⅱ」では、受け持ち患者への援助を展開している。3年生から4年生にかけての「専門看護実習(成人看護学、高齢者看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、在宅看護学)」では、それぞれの対象への援助を学び、4年生の「統合看護実習」ではこれらを統合した実習を行っている。また、保健師養成課程は「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」において、地域の保健活動の実際を学んでいる。

●統合看護論

自己理解やインターンシップ、具体的な就職活動への準備ができるように3年生を対象

に、近隣の病院の看護管理者を招いたキャリア形成講座、八戸学院短期大学看護学科卒業生を招いた卒業生講話、外部講師によるキャリア支援講座を開催している。

【資料 2-3-10】 2019 年度キャリア支援講座について

【資料 2-3-11】 2019 年度卒業生講話について

【資料 2-3-12】 2019 年度キャリア支援講座①（就活スタートアップ講座）

【資料 2-3-13】 2019 年度キャリア支援講座②（履歴書・面接支援対策講座）

【資料 2-3-14】 2019 年度キャリア支援講座③（合同就職説明会の回り方講座）

(2) キャリア教育（教育課程外）

●教員採用試験対策講座

外部講師による教員採用試験対策講座（全 10 回）を開講した。

【資料 2-3-15】 令和元(2019)年度八戸学院大学教員採用試験対策講座日程

●公務員試験対策講座

外部講師による公務員試験対策講座（全 10 回）を開講した。

【資料 2-3-16】 令和元(2019)年度八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部公務員試験対策講座日程

●資格取得講座

外部講師による医療事務試験対策講座（全 12 回）を開講した。

【資料 2-3-17】 令和元(2019)年度八戸学院大学医療事務講座日程表

●社会福祉士国家試験対策講座

外部講師による社会福祉士国家試験対策講座（全 10 回）を開講した。

【資料 2-3-18】 令和元(2019)年度社会福祉士国家試験対策特別講座実施要項

(3) 就職支援事業

【地域経営学科（ビジネス学科）・人間健康学科】

●就職合宿

ビジネス学科（現学科名：地域経営学科）および人間健康学科の 3 年生を対象に、1 泊 2 日の就職合宿を毎年度実施している。参加者が集中して一連のプログラムを受講できるよう、本学近郊のホテルを会場として実施している。25 回目となった令和元(2019)年度就職合宿では、各々の学生の希望に合致した学びを提供するため、一般企業コース・公務員コース・教員コースの中から選択させ、コース別座談会を実施した。また、参加者に知識と技能を効果的に身につけさせるため、プログラムは講義形式のみでなく演習形式も取り入れた相互補完的な体制をとった。演習では、就職活動の流れや面接の受け方、自己分析、模擬面接などについて实际的に体験させ、指導した。講師は、本合宿での講師経験を有する学外のキャリアアドバイザーや企業の採用担当者が担当した。

なお、令和元(2019)年度における就職合宿の参加者数（参加率）は、ビジネス学科 13 人（16%）、人間健康学科 19 人（25%）であった。

【資料 2-3-19】 令和元(2019)年度八戸学院大学第 25 回就職合宿要項

【資料 2-3-20】 令和元(2019)年度八戸学院大学就職合宿アンケート

●就職説明会

地域経営学科および人間健康学科の3年生を対象とした就職説明会を毎年度、八戸市内のホテルにおいて実施しているが、令和元(2019)年度は新型コロナウイルス感染対策のため、中止となった。なお、看護学科においては、看護学科就職説明会を実施した。

【資料 2-3-21】令和元(2019)年度八戸学院大学健康医療学部看護学科就職説明会開催要項
(案)

【資料 2-3-22】令和元(2019)年度八戸学院大学健康医療学部看護学科就職説明会冊子

●学内企業説明会

地域経営学科および人間健康学科の4年生を対象に、学内企業説明会を企業や学生の要望に応じながら、随時実施している。

【資料 2-3-23】令和元(2019)年度八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学内企業説明会
日程表

【看護学科】

●小論文対策講座

就職試験対応として、3年生・4年生の希望者対象に外部講師による看護学科小論文対策講座(全3回)を実施し、3年生15人・4年生3人が受講している。

【資料 2-3-24】2019年度小論文対策講座について

●就職説明会

看護学科就職説明会を1~3年生対象に病院・施設の18施設の参加を得て、実施した。学生の参加は3年生38人(64%)であった(病院委託生以外は、ほとんど出席した)。

【資料 2-3-25】2019年八戸学院大学健康医療学部看護学科就職説明会参加要項

●進路支援面談

学生が個々の希望する進路に向かって主体的に活動できるように、全学年対象に年2回、進路支援面談シートを用いてゼミナール担当教員又はカレッジアドバイザーと面談し、進路について相談できる機会を設けている。

【資料 2-3-26】進路支援面談シート

(4) 就職・進路状況

学生の就職・進路先の状況は、内定調査および学生に提出を求めている「就職活動報告書」と「最終進路届」により把握している。

本学の過去5年間の就職内定率は表 2-3-1 のとおりである。なお、地域経営学科については、完成年度を迎えていないため算出していない。

また、本学の令和元(2019)年度の進路先状況は、表 2-3-2 のとおりである。

【資料 2-3-27】内定調査票

【資料 2-3-28】就職活動報告書

【資料 2-3-29】最終進路届

表 2-3-1 過去 5 年間の就職内定率

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ビジネス学科	100%	98%	100%	98%	100%
人間健康学科	100%	100%	100%	100%	100%
看護学科	—	—	—	—	100%

表 2-3-2 令和元(2019)年度進路先状況(単位:人)

	卒業者数	就職希望者数	就職内定者数	県内内定者数	進学者数
ビジネス学科	61	51	51	22	0
人間健康学科	72	60	60	29	1
看護学科	59	59	59	23	0

(3) 2-3 の改善・向上方策(将来計画)

過去 5 年間の就職内定率は高水準で推移しており、今後ともこの水準が維持できるよう各種の支援を行う。また引き続き「キャリアデザイン I～VI」において、「まとめキャリアシート」の情報を「はちがくキャンパス Web」の「キャリアデザイン」の授業ページに蓄積し、教員間で共有することにより、協働して学生のキャリア発達を支援する。さらに「インターンシップ」との連携・協働を密に図ることによって、積極的に学生のキャリア形成を支援する。

今後とも、キャリア支援課による就職合宿、就職説明会、学内企業説明会などを併せて実施し、学生が円滑に社会へ移行し、自立した市民としてその役割を果たしていくことができるよう支援を行う。また、教職員間の情報共有を密にし、学生への情報発信を積極的に行って、就職支援を充実させるために協働してその企画・運営に当たる。

2-4. 学生サービス

2-4-① 学生生活の安定のための支援

(1) 2-4 の自己判定

基準項目 2-4 を満たしている。

(2) 2-4 の自己判定の理由(事実の説明及び自己評価)

2-4-① 学生生活の安定のための支援

1. 学生生活支援の組織と体制

本学の学生が学業と課外活動に専念し、安全かつ安定した学生生活を送ることができるようにするための組織として、学生支援センターを設置している。学生支援センターの下には八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学生委員会(以下、学生委員会)、八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部国際交流支援委員会(以下、国際交流支援委員会)が置かれ、教務学生課とともに学生生活を支援している。さらに、心とからだの支援体制として、学生相談・特別支援室、保健室が設置されている。

学生支援センターでは、学生に対し、入学から卒業まで一貫した学生支援を行うことを目的とし、以下の項目について審議し、実践している。

- (1) 学生の厚生補導体制のあり方および学生生活の充実、相談指導のための方策についての企画・調整に関すること
- (2) 学生指導に係る研修会・講習会、調査・研究等に関すること
- (3) 学生の国際交流に関すること
- (4) 学生のハラスメントの防止に関すること
- (5) 学生生活に係る支援全般に関すること
- (6) その他、学生支援センターに関すること

本学では、教職員間で学生の情報を共有する目的で、「はちがくキャンパス Web」システム上にある「学生カルテ」を活用している。「学生カルテ」には「学生相談」履歴があり、教職員が学生との面談結果等を書き込むことができる。

「学生相談」履歴によって情報共有が促進される反面、「学生カルテ」には多くの個人情報が含まれていることから、学生のプライバシー保護に関しても、十分に配慮している。

【資料 2-4-1】 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学生委員会規程

【資料 2-4-2】 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学生支援センター規程

【資料 2-4-3】 Web 学生カルテシステム教員操作手順

【資料 2-4-4】 学校法人光星学院個人情報保護規程

【資料 2-4-5】 学生カルテの「学生相談」機能の利用に関するお願い

2. 学生生活支援の状況

(1) 学生支援体制

●新入生交流会

新入生交流会は、新入生と教員、先輩学生の交流を図る目的で、例年 4 月上旬に実施される行事である。令和 2(2020)年 4 月についても実施される予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

【資料 2-4-6】 大学・短期大学部 新年度オリエンテーション&講義実施について

●留学生支援

留学生に対し、住居の斡旋、買い物支援、物品提供、交通支援などの学生生活全般の支援を行っている。

【資料 2-4-7】 留学生支援状況

●健康管理

学生を対象として、毎年度 4 月のオリエンテーション時に定期健康診断を行っている。また、健康診断については健康医療学部の教員を校医として委嘱し、実施している。校医による健康相談は、保健室で直接申し込むか、E メールにより学生からの予約を随時受け付けている。学生は平日の一定の時間帯 (8:30~17:30) に保健室を利用することが可能であり、保健室勤務の経験を有する准看護師が職員として常駐している。

【資料 2-4-8】 令和元(2019)年度大学保健室利用状況

●国際交流活動

学生の国際交流意識の醸成および海外語学研修での成果が持続できるように、平成